

市民意見聴取に係る施策の概要

案件名： (仮称)尼崎市下水道ビジョン2031の策定

(副題)

局課名： 公営企業局 上下水道部 計画担当

施策の目的	下水道の効率的な整備と管理、安定的な経営を図るため、下水道の目指すべき方向性を示し、下水道事業への市民の理解と協力を得て、下水道が果たすべき役割や課題への取組を進めていくものです。
現状・背景	<p>○尼崎市の下水道事業については平成24年「尼崎市下水道中期ビジョン」を策定し、それに基づき事業を進め、概ね計画どおり進捗しています。</p> <p>○尼崎市の公共下水道は、昭和28年に事業着手し、平成8年には概ね整備率が100%となった一方で、建設当初の下水道施設は耐用年数を迎えます。そのことから現在、①下水道施設の改築更新 ②集中豪雨に対する浸水対策や地震への対策 ③河川や海の水質向上を目的とした下水の高度処理の推進 ④合流式下水道(雨水と汚水を合わせて処理)による雨天放流時の河川や海の水質改善など、下水道機能の向上に資する取組を行っております。</p> <p>○現在のビジョンの計画期間が令和3年度末を目標年次としていることから、令和4年度から10年間を計画期間とする新たなビジョンを策定するものです。</p>
課題	<p><事業についての課題></p> <p>○事業着手が早く、急速に下水道を整備をしたことにより、急激に増加する老朽化施設への対応が必要であり下水道管きょやポンプ設備、電気設備等の個別機器だけでなく、それらを守るポンプ場や処理場の建替えの検討が必要です。</p> <p>○下水道機能を確保する「防災」の視点に加え市民生活の影響を最小限に抑える「減災」の視点を加えた取組や警報発生時などの効果的な広報の検討が必要です。</p> <p>○下水の最終的な放流先である河川や海域の水質改善対策や地球温暖化対策として、環境負荷低減の取組検討が必要です。</p> <p><経営についての課題></p> <p>○安定的な事業運営の確保が必要です。(人口減少に伴う使用料収入の減少、老朽化対策や災害対策などの需要増大に対する事業量の平準化及び財源手当について)</p> <p>○経営環境に対応した効率的な事業運営体制の検討や新たな担い手となる職員の育成が必要です。</p> <p><市民理解についての課題></p> <p>○下水道に対する市民の関心を高め、役割やその重要性の理解促進に向け、わかりやすい説明や効果的な情報発信方法の工夫が必要です。</p>
施策の策定にあたっての考え方	<p>○国が策定した「新下水道ビジョン」(国土交通省 平成26年7月)、「経営戦略」(総務省 平成26年8月)の視点を踏まえながら策定します。</p> <p>○今後の課題となる施設の改築需要や資金需要について、長期的な視点に基づきストックマネジメントによる将来事業量予測を活用し、直近10年間のビジョンを策定します。</p> <p>○策定にあたっては、「尼崎市公営企業審議会」(令和2年10月から令和3年11月までの予定)において学識経験者や市民代表者等から幅広い意見をお聞きし、検討を進めます。</p>
意見を聴取するポイント	○次期ビジョンの策定では、「ポンプ場や処理場の建替え検討」や「減災の視点を加えた取組」など新たな項目を検討していく予定です。これらに加えて今後の下水道事業に期待することや重点的に取り組んでほしいことなど広く市民の皆様のご意見を募ります。
市民意向調査(ステップ2)の実施手法	○令和2年9月上旬から9月下旬まで市ホームページにおいて意見募集を行います。
お問い合わせ先	公営企業局 上下水道部 計画担当 電話番号(TEL) 06-6489-6588 ファクス(FAX) 06-6489-7407 メールアドレス(Eメール) ama-gesui-keikaku@city.amagasaki.hyogo.jp